

11/27(木)
開催

けいはんな情報通信オープンラボ シンポジウム2008

● ICT産業の国際競争力とアジアとの連携～日本のICT産業は世界で生き残れるのか～ ●

会期：2008年11月27日(木) 13:00～17:00

会場：ブリーゼプラザ 小ホール(7階) ポスターセッションは12時～8階で開催

主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 (<http://www.khn-openlab.jp/>)

共催：(独)情報通信研究機構、(社)関西経済連合会、(財)関西文化学術研究都市推進機構、総務省近畿総合通信局

後援：超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム

定員：200名(定員になり次第締切ります)

費用：シンポジウム参加費無料(交流会参加費 2,000円)

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会は、「けいはんな情報通信オープンラボ」を利用して高機能ネットワーク、ユニバーサルコミュニケーション、ユビキタスネットワークとロボットが融合したネットワークロボット等のICTの産学官連携による研究開発を支援し、新技術を新たな産業創出に展開するとともに、国際標準化活動の支援や研究人材育成の取り組みを行っています。

本シンポジウムでは、オープンラボの最近の取り組みや研究成果を展示やデモンストレーションを通じて、協議会会員を中心としたICT関連企業の皆様にご報告するとともに、国際競争力強化のための活動や国際連携のあり方等に関する議論を通して今後の協議会活動の方向性に関して広く意見交換を行いたいと存じます。

プログラム

■ ポスターセッション

12:00～13:00、14:50～15:20、17:10～17:40

会場 8階 803+804号室

展示内容

ポスター・デモ展示(研究概要等のご紹介)

■ 開会挨拶・主催者挨拶(13:00～13:10)

<開会挨拶>

西村 知教 氏 (けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 副理事長)

<主催者挨拶>

稲田 修一 氏 (総務省近畿総合通信局 局長)

■ 基調講演(13:10～14:00)

講演テーマ

「戦略的イノベーションによる国際競争力の強化」

(講師)

大阪工業大学大学院 知的財産研究科
教授 平松 幸男 氏



<講演概要>

近年、ICT分野における日本の国際競争力が低迷していると伝えられている。しかし、日本は依然として高い技術力を保持し、高度なICTインフラを有する。必要なのは「戦略的イノベーション」の推進であり、官民学が連携して取り組むこと。

<標準化活動歴>

1985年よりITU-T SG7およびSG18(現SG13)に参加し、ISDN/パケットプロトコルおよび網間接続の標準化活動に参加。勧告X.31エディタ、SG7レポート、SG7副議長(兼WP議長)のあと、2000年にSG11議長に就任。2008年10月に退任予定。

■ 特別講演(14:00～14:30)

講演テーマ

「パナソニックのグローバル標準化の取り組み」



(講師)

パナソニック株式会社
スタンダードコラボレーションセンター
所長 三村 義祐 氏

<主要業務分野>

ICT分野における標準化戦略立案および標準化推進
全社標準化体制の整備・強化。

■ 協議会の活動紹介(14:30～14:50)

西田 豊明 氏 (京都大学大学院 情報学研究所 教授)

■ パネルディスカッション(15:20～17:00)

テーマ

“ICT産業の国際競争力とアジアとの連携”

chair: 平松 幸男 氏 (大阪工業大学大学院 知的財産研究科 教授)

panelist: 井上 友二 氏 (ICT標準化・知財センター センター長)

土井 教之 氏 (関西学院大学 経済学部 教授)

西田 幸博 氏 (NHK放送技術研究所 主任研究員)

山田 敬嗣 氏 (NEC C&Cイノベーション研究所 所長)

順不同

■ 閉会挨拶(17:00)

榎木 好明 氏 (けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

理事・部会長)

■ 交流会(17:40～18:40)

会場 「8階 801+802号室」 交流会参加費 2,000円)

お申し込み方法 / お問合せ先

(お申し込み方法) 別添申込書にご記入の上、メール又はFAXにてお申込みください。 <締切り 平成20年11月6日(木)>

(お問い合せ) けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会事務局

(社)関西経済連合会 産業部 上山・杉本 Tel:06-6441-0106 Fax:06-6441-0443

(独)情報通信研究機構 生野 Tel:0774-98-6806 Fax:0774-98-6955 E-mail(共通): openlab-symposium2008@khn.nict.go.jp